

2026 ロボコンジャパンカップ 予選

ルール

1. ロボットについて

本体サイズ	タテ 39.4cm x ヨコ 39.4cm x 高さ 40.0cm 以内 (<u>バケット部を含む最長の長さをこの範囲内とする。</u>) (<u>バケット可動時も同様この範囲内とする。</u>)
足回り	キャタピラ仕様のみ。(キット付属車輪のみ使用すること)
モーター	<u>〔FA-130〕のみ使用可能とする。(キット付属のモーターのみ)</u> 改造されたモーターの使用は認めない。搭載する数に制限は無し。
電池	使用できるのは <u>単二電池 2 本</u> に限る。 改造などして単二電池以外の電池を使用する事は認めない。
バケット	<u>ワンピースギアボックス（付属品）による駆動を条件とする。</u>

※ 車検は、バケット部及び付随するパーツを最長に伸ばした状態で行います。

2. ルールについて

1. 予選タイムトライアル

- フィールド上のピンポン玉 **(15 個)** を指定の場所に運びタイムを競います。
- ピンポン玉のトレーは、ロボット本体またはバケットで倒してください。コントローラーのコードなどで倒してしまった場合は強制リトライとなり、審判によりピンポン玉トレーに玉を再セッティングします。その後リトライスタートとなります(時間は進んだまま)。
- 制限時間 **3 分**。
3 分以内に運び終わらない場合は、運び終わった玉の数を記録とします。
- チャレンジは **3 回**。
3 回のチャレンジで、記録の良い方で順位を決定します。
- キャタピラを含むロボット本体が得点ゾーンで床面に接触した場合は、その回のチャレンジを失格とします。※バケットのみが床面に接触した場合は、この限りではありません。
- ピンポン玉は必ず黒坂を経由して得点ゾーンへ投入してください。黒坂脇部から直接投入されたピンポン玉は得点対象外とし、審判がフィールドに戻します。

3.リトライについて

1. リトライの条件

- ロボットが故障した場合
- 競技者がリトライを宣言し、審判が認めた場合
- その他、審判がリトライと判断した場合

例) ロボットが横転したり、キャタピラが外れたりして走行不能になった場合。

2. リトライのやり方

選手が手を上げ「リトライ」と宣言する。

↓

審判がリトライを認める。

↓

修理

↓

バケット先端をリトライラインにあわせる

↓

審判の「スタート」のコールで再スタートする。

3. 再スタートの位置

白い坂の赤いラインをリスタートラインとする。※コース図参照。

4.メンテナンス（修理）について

- ・ 競技中の修理はコース脇で行って下さい。(キャタピラ外れを直す場合も、コース上ではなく、コースの脇で行ってください。)
- ・ 修理中も競技時間は経過します。(修理後は再スタートとなります。)
- ・ 修理不可能の場合は棄権となります。
- ・ 競技中の修理を素早く行う為にも、事前にコース脇（じゃまにならない場所）に工具を用意して下さい。(保護者の方が近くで管理していても構いません。)
- ・ 審判やロボコンジャパンメンバーが貸し出しすることはありません。
(最初に貸し出している工具を持ち込むことは OK です。)
- ・ メンテナンス（修理）は、選手と保護者 1 名ができます。それ以外の人ロボットに触れることは禁止とします。
(何人もの人がロボットに触れた場合は失格となりますのでご注意ください。)

5. 禁止及び失格行為

●禁止行為

- ・ 競技中、リトライ時以外に無断でロボットに触れること。
- ・ コース上へ選手が故意に進入すること、コース上にある備品等を故意に破壊すること。
- ・ 滑り止めを目的とした粉末やクリーム等をロボット本体やタイヤベルト、バケットに塗布すること。
- ・ コースを汚したり、次走者の協議の妨げになる行為となった場合は即刻失格とします。
- ・ 競技中に選手以外の人がロボットやリモコンを持ったり、操作すること。
(リトライ宣言後のメンテナンスを行う場合に限り、保護者 1 名が手伝うことは OK。)

●失格行為

- ・ 「1.ロボットについて」の規定以外の改造を行った場合
- ・ リモコンでロボットを引っ張ったり、試合中にわざと横転させたり、
悪ふざけをした場合
- ・ 禁止行為を繰り返し、度重なる警告があった場合

6.その他

- ・ 予選大会本番までに、コース・ルールを若干変更する場合もございます。
変更があった場合は、HPに掲載およびLINEにて報告致します。ご了承下さい。
HP : <http://www.robocon-japan.com/>
また、その他連絡事項・ワンポイントアドバイスの予約に関してはLINEでのやりとりとなります。
- ・ 競技中はコースや備品に触れる機会がありますが、誤って破壊しないように注意して下さい。
- ・ 大会中はみんなが楽しむためにルールを守りましょう。